

RENAULT MEGANE R.S.

#02 | 2015年式 | 走行距離=820km



担当=緑整備センター

GT-RをはじめフェアレディZなど日産系チューナーとして名を馳せる緑整備センター。メガーヌR.S.の実力を認め、チューニングを開始!



こちらが
緑整備センターの
ホームページです

チューニングされた日産GT-R、フェアレディZがドーンと現れる、緑整備センターのHP。もうすぐこのHPのメニューにルノー・メガーヌR.S.という文字が加わるのかと思うと、ドキドキしますね。



Tipo PADDOCK PASS

最初の状態を知っておかなくちゃ!

まずはパワーチェックから!

新連載

文：三宅康朗 撮影：宮越孝政 取材協力：緑整備センター TEL：045-933-1101 URL：http://midoriseibi.co.jp/

さて、チューニングを始めるにあたり、まずは最初の状態を知っておこうとパワーチェックを行いました。計測器はハブに直接取り付ける「ダイナパック」を使用しました。

このダイナパック、なんでもタイヤを外してハブに直接取り付けるので、パワロスが発生することがなく、グラフの数値も曲線も正確にわかるので、セッティングには最適の装置とのこと。

さっそく取り付けて計測開始です。でも、この取り付けが大変らしい。しかし、緑整備センターでは特殊工具を自ら製作したとのこと、ものの5分で準備完了。

で、計測結果ですが。数値は最高

出力が258・73PS、最大トルクは37・9kg・mとのこと。へえ、結構力タログ数値通りに出てのね」と思ったところが大間違い。なんでも馬力に関しては、ダイナパックは出た数値に1・13ほどの係数を掛けたのが実馬力とのこと、計算したらなんと292PS! え? カタログ数値の30PSオーバー? いろいろ調べたところ、もちろん個体差はありますが、ルノースポーリング車ではまますごいことらしいです。きつとルノー・スポーリングはカタログ値の265PSはウソじゃないもんね」って意味なのかもしれないね。

次回は筑波テスト走行です!



ダイナパックとは?

ハブに直付けしてロスのない計測

タイヤを外してハブに直付けして計測する方式を探るため、ローラー式と違いロスや誤差が出にくいシステム。また、取り付けた機械側から負荷を掛けて計測するため、クルマ側に大きな負担がかかるので冷却設備が必要となる。負荷を掛けたときキックダウンしてしまうATでの計測は基本的に不可能。



こちらが取り外したメガーヌの頭脳ともいえるCPU。いや、今回は計測するだけだから取り外す必要はないんですけどね、念のため。

4速に入れて、全開! その後は負荷がかりながらの計測となります。なのでエンジン冷却の為に大量の水が必要になるとのこと。



計測終了後、モニターにグラフが浮かび上がります。これで計測終了。ダイナパックは正確に計測できるので、セッティングに最適です。